

『おくのほそ道』ジグソー学習計画その2

学習計画《第3次・第4次・第5次》

《第3次（4時間）》

- （4）学習課題を決める
 - 調べる内容についての話し合い
 - 学習課題の決定
- （5）参考資料をもとに、学習課題について調べる
 - 調べ方の話し合いと各自の分担の明確化
 - 調べる上での問題点と調べる方法の再検討
 - 発表ワークショップへ向けた準備

《第4次（2時間）》

- （6）発表ワークショップを開催する
 - 発表ワークショップ
- （7）互いに報告し合いジグソー学習を行う
 - グループごとの報告会

《第5次（1時間）》

- （8）学習のまとめをし、今回の学習成果について話し合う
 - 事後アンケートへの記入

～ ジグソー学習を進める上での用語について ～

ジグソー学習では、ジグソーパズルをイメージし、仲間との学び合いの場をベースとした学習を展開します。この学習において、生徒は「ジグソーグループ」と「カウンターパートグループ」の2つのグループに所属することになります。カウンターパートとは、対等の立場にある相手のことです。

それぞれのグループの呼び方は、例えば以下のようにしてもかまわないでしょう。

【ジグソーグループ】

元グループ ホームグループ 学習班

【カウンターパートグループ】

課題別グループ エキスパートグループ 追究班 調査班 実験班

ジグソー学習では、それぞれの仲間と交流しながら課題解決をしていくことに特徴があります。生徒には、課題別グループで学習したことを元グループに戻って伝えなければならないという責任が生じます。そのことが、対話の目的を明確にするというわけです。すなわち、対話の必然性が生まれることになります。

この責任と必然性が重要です。ジグソー学習では、一人一人の生徒が主役となります。そうならざるを得ない状況がつけられます。ジグソーパズルのピースと同じですから、一つでも欠ければ完成することはありません。